

黒川高等学校

校訓 公正 友愛 開拓



1 基本データ

創立：明治34年
課程・学科：全日制課程
普通科、機械科、電子工学科、環境技術科
生徒数：415名
所在地：〒981-3685 黒川郡大和町吉岡字東柴崎62
TEL：022-345-2171

ホームページアドレス：https://kurokawa.myswan.ed.jp/
電子メールアドレス：kurokawa@od.myswan.ed.jp
主な交通機関：宮城交通バス
地下鉄泉中央発 吉岡行き「吉岡志田町」下車 徒歩15分
// 松坂平五丁目行き「黒川高校前」下車 徒歩0分
高速バス仙台一大衡・加美線「JAグリーンあさひな前」下車 徒歩5分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

黒高マイスクール宣言 (R8)

「私たちは黒高の歴史と伝統を大切にし地域とともに歩み成長していきます。」

【黒高の追い求める生徒像】

- 『服装・頭髪規則を守る生徒』
→いつでもそのまま面接に行ける姿
- 『基礎学力と発信力を身に付けた生徒』
→10年後社会で活躍しているために
- 『欠席、遅刻、早退をしない生徒』
→年間平均出席率98%超
- 『部活動にしっかり取り組む生徒』
→企業や上級学校の求め
- 『互いを尊重し高め合える生徒』
→「チーム黒高」として学校生活の向上を

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は、今年で創立126年目を迎えた歴史と伝統ある男女共学の普通科と工業の専門学科を併設した高校です。秀峰船形連峰と七ツ森を眺望できる風光明媚な吉岡の地に位置し、近くには国際的な企業が進出している仙台北部中核工業団地が控えています。これら地域産業を担う人材育成のために、キャリア教育を充実させ、個に応じたきめ細かい進路指導に努めています。生徒が生きがいを持って活動できるように、教育環境を整備し、部活動や生徒会活動などの様々な活動を積極的に支援しています。豊かな人格の陶冶を図るとともに、地元の高校として地域とともに成長する学校づくりを進めています。

(2) 教育方針

「公正・友愛・開拓」を校訓とし、勤労を重んずる自主的な実践力と誠実に責任を果たす態度を養い、健全な判断力と社会性を兼ね備えた情緒豊かな人格を育成します。また、生徒が明るく元気に生きがいを持って生活できるように教育環境を整備します。教職員は一致協力し、常に教育活動の向上に努め、生徒が自信と目標を持ち、生きる力を蓄え、卒業後は地域社会の発展に貢献できる人材育成に努めます。

(3) 教育課程の特徴

<普通科>

「社会で役に立つ人を育てる」という目標を掲げ、社会人として活躍するための基礎を育む教育をします。「総合的な探究の時間」を中心に様々な体験的・探究的なプログラムを準備して、「課題に気付く力」「調査する力」「まとめる力」「協働する力」などを実践的に学びます。大学進学にも就職にも対応できる普通科の強みを生かすため、学校の外部と積極的に関わりながら、教員一丸となって挑戦していきます。

<機械科>

地域の製造業の担い手として活躍するために必要なものづくりに関する知識・技能を養います。そのために「機械加工」「自動車」「制御技術」の各分野について、3年間を通して系統的に学習します。具体的には、専門知識を学習する教室での授業と、各種工作機械を使用した金属加工ならびにCAD/CAMシステムとNC工作機械を使用した自動加工、実際の自動車を用いた作業などに取り組む実習の授業に取り組めます。これらを生かして、製造業をはじめとする民間企業への就職や四年制大学工学部への進学などの進路を選択することができます。

<電子工学科>

①電子②電気③情報通信④制御に関連する業務に従事するため、必要となる基本的な技術や技能を習得し、社会に貢献できる人材を育成しています。3年間、幅広く専門教科や実習を学ぶことにより、上記4分野の関連企業に就職することができます。また、専門性を高めるための大学や専門学校への進学も可能です。

<環境技術科>

建設現場に必要な知識・技術・技能を学び、環境問題に取り組むことができる土木技術者を育成します。また、地球温暖化・環境問題など環境に関する幅広い知識を学び、循環型社会の進展に貢献できる環境に優しい技術者を育成します。さらに、土木・環境系の資格や技能を取得し、進路選択に役立てていきます。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

本校の2大行事は、5月と11月にスポーツ大会、10月に文化祭が行われ、全校生徒で盛り上がります。部活動は10の運動部と、6つの文化部、3つの同好会があります。

<運動部>

野球部、サッカー部、テニス部(男女)、バスケットボール部(男子)、バドミントン部(男女)、バレーボール部(男女)、卓球部(男女)、陸上競技部、剣道部、柔道部

<文化部> 美術部、書道部、吹奏楽部、パソコン部、ロボット研究部、調理部
<同好会> 囲碁・将棋同好会、茶道同好会、写真同好会

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(人数)

進路	R7	R6	R5
大学	10	11	7
短期大学	5	5	3
専名学校	18	36	26
就職(県内)	70	92	105
就職(県外)	1	3	0
その他	8	4	5
卒業生計	112	151	146

主な進路先(令和8年3月卒業生)

()内は人数 (1)は省略。

<私立大学>

東北学院大学(3)、東北工業大学(2)、東北福祉大学、仙台大学、宮城学院女子大学、石巻専修大学、國學院大学

<短期大学>

聖和学園短期大学(2)、東北生活文化大学短期大学、仙台青葉学院短期大学、福島学院大学短期大学

<専修各種学校>

仙台医健スポーツ専門学校(3)、仙台スイーツ&カフェ専門学校(2)、専門学校東北動物看護院(2)、仙台ECO動物海洋専門学校(2)、仙台ビューティーアート専門学校(2)、仙台理美容専門学校(2)、SENDAI中央理美容専門学校、仙台大原簿記情報公務員専門学校、仙台リハビリテーション専門学校、葵会仙台看護専門学校、宮城県仙台高等技術専門校、他

<就職>

大和町職員(行政)、宮城県警察、自衛官候補生(4)、トヨタ自動車東日本(4)、トヨタバッテリー(2)、CKD(2)、ワイ・デー・ケー(2)、イズミテクノ(2)、ササキ(2)、山田車体工業(2)、宮城建設工業(2)、白石食品工業(2)、コバヤシ(2)、日本ファインセラミックス(3)、仙台村田製作所(2)、トヨタ紡織東北、アイリスオーヤマ、アルプスアルパイン、東北電力ネットワーク、日本テクノカーボン、TOPPAN パッケージプロダクツ、仙台小林製菓、バイタルネット、パンセ、紀生、ラクダ運輸、西濃運輸、仙台臨海鉄道、(医)明徳会青葉デンタルクリニック、(社)みんなの輪、宮城県環境事業公社、セントラル警備保障、他

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

ロボット研究部全国大会出場！！

令和7年8月に「高等学校ロボット相撲選手権2025北海道東北選手権」が行われました。3kg級ラジコン型の部において、本校ロボット研究部の「ステーキ2号」が準優勝し、両国国技館で開催される「全日本ロボット相撲大会全国大会」への出場権を獲得しました。惜しくも全国大会では初戦で敗退しましたが、全国の舞台で挑戦できたことは大きな経験となりました。これからの活動に期待です。



(2) 主な学校行事

スポーツ大会

令和8年度は、5月と11月の計2回開催されるスポーツ大会。令和7年度は6月に2日間行われました。1日目は、球技の予選が行われ、事前に抽選したトーナメント表で試合を進めました。2日目は、球技の決勝とリレーや長縄、綱引きといった大勢で戦う競技を実施。優勝チームは教員チームとのエキシビジョンマッチが行われ、とても盛り上がりました。クラスごとに作成したTシャツは、大会を一層華やかにしてくれます。



黒高祭

10月下旬の2日間にわたり、本校文化祭が開催されます。1日目の校内発表では、文化部の発表やクラスごとのPR動画、実行委員企画などが行われ、体育館は大きな歓声と拍手に包まれました。

2日目の一般公開では、模擬店や文化部の展示に多くの方が訪れ、校内は終日活気に満ちていました。黒高生の工夫と笑顔が光る文化祭となりました。



(3) 学校制服紹介

男子(写真右): 淡いブルーのシャツは爽やかで、深いグレーのジャケットとズボンは落ち着いたイメージです。

女子(写真左、中央): 男子と同じ、淡いブルーのシャツと深いグレーのジャケットです。赤のタータンチェックのスカートが、とってもおしゃれです。スラックスを着用することも可能です。

※ネクタイ、リボンは、学年ごとに色が違います。



4 学校生活・授業風景

普通科: 総合的な探究の時間 地域探求をテーマに取り組みます。



機械科: 実習を通して、溶接の他、旋盤などの大会に参加することもできます！



電子工学科: 実習



環境技術科: 実習



学校生活

壮行式



就職達成セミナー



5 生徒会よりメッセージ

黒川高校は、県内で唯一、普通科と工業科を併設する公立高校です。普通科と工業科それぞれの特色を生かしながら、生徒は自分の進路や目標に向かって学びを深めています。部活動も活発で、16の部活動と3つの同好会が意欲的に活動しています。また、生徒会による地域清掃「アルカス活動」などを通して、地域とのつながりを大切にしています。「公正・友愛・開拓」の校訓のもと、生徒たちは仲間と協力しながら、学びと交流に満ちた学校生活を送っています。